



研修農場新聞

(公財) 農林水産振興団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

就農に向けて日々前進する研修生たち

成功や失敗は今後の大きな糧に！

特に鳥獣害・病虫害・雑草対策

第1期生・2期生たちは、いまそれぞれの圃場で各種夏野菜の栽培管理や販売実習、講義受講など、様々なスケジュールで日々実践的な研修に励んでいる。

第1期生は週に2日ほど農家派遣研修に行くため、各自栽培圃場での管理は週3日という中で、約4アール、10品目近くの野菜を管理している。限られた時間の中で生産管理や収穫調整作業を行うのはとても大変。朝早くから収穫したり、時には遅くまで管理や荷造り等を行うこともある。

ただ、自ら責任を持って生産管理を行うことで、初めて気づくことも多い。夏に向かう時期、農作物は待つてくれない。雨が続けば作業は捗らない等、なかなか計画通り進まない。その間には、次々と雑草が生え、カラスや病害虫の



右:カラス被害が多発
左:トウモロコシの食害の発生

被害なども急激に広がる。就農後にお借りした畑に雑草を生やしているようではダメだし、病虫害の発生源にしてもいけない。

先を見越して「作業の優先順位付けと時間の使い方が重要になる。つまり農作物や周辺環境をよく観察し、早期発見、早期防除をしつつ、荷づくり等も効率的に行うことが求められる。



主体的に作業に取り組む1期生

1期生からも「やはり栽培管理はスタートダッシュ(後回しせず、すぐ対応が肝心)」との声がある。こうした経験も、就農後の労力配分や主力作物などを決めていくうえで大きな糧になると確信している。

第2期生の声

第2期生たちも、日々頑張っている。入講から早4カ月が経ち、この間の感想をつぶさに聞いてみた。

・農業は初めてだが、学ぶすべてがとても新鮮。
・作物をただ育てるのでなく、毎日大切に育てることが後々商品の質や量に大きく影響すると感じた。
・農家視察では自分で事業経営する面白さを感じた。

また、2年後の昔農イメーシが見えてきた気がする。プロ農家(市場出荷や直売を主軸とした農家さん)の攻めの売り方なども大変参考になった。



・直売実習ではお客さんの生の声が聞いて勉強になる。



研修棟の入口付近に設置した直売所

・これまで野菜の商品づくりの経験はなかったが、売

れる商品も自分でも作れるんだという自信が持てた。

・農業機械については使いこなせるか心配なくらい初めて知ることばかりだった。

・品種ごとに味や特性の違い等を知ることができ今後の品種選びにも役立つ。
・自分たちで土づくり、定植、栽培、収穫、荷造り、販売という農業の一連の流れを実際に経験でき大変充実感を感じる。

・研修では東京の露地栽培の現実を知ることができた。手のかかる野菜、あまり手間のかからない野菜など、実際に様々な野菜を育ててみて初めて知ることばかりで大変勉強になる。

などの感想があった。今後にもさらに知識や技術が身に付くよう支援していく。



鳥獣害対策としてスイートコーン畑に防鳥ネットと電気柵を設置



今後の予定など

7月下旬からは秋野菜に向けた土づくりや苗づくり、1期生は新規就農希望者経営計画支援会議に向けたプレゼン準備、農場内には農業用水の配管等を整備予定。

これまでの天候

今年には桜の開花が早く4月には既に散り始め、下旬には夏日も記録。5月は曇りや雨の日が多かったが、6月は比較的日照時間が多く、梅雨入りも14日とこの10年で最も遅かった。ただ、7月には各地で豪雨による被害が発生。今後は特に猛暑やゲリラ豪雨、台風などに注意を要する。

4~6月の主な出来事など

(4月)

- ・7日 青梅庁舎、たい肥センター、西多摩普及センター視察
- ・14日 第2期生入講式、21日 武蔵野市農業委員会
- ・24日 農業機械講習、23日 農林水産部長来所

(5月)

- ・6日 練馬区役所課長他来所
- ・24日 理事長来所、26日 稲城市の農家視察

(6月)

- ・14~18日 都庁食堂ランチメニュー食材提供
- ・16、18、23、25、28、30日 フードバンク八王子への提供
- ・16、18、23、25、30日 研修棟前での直売
- ・24日 八王子市と日野市農業委員会、29日あきる野市農業委員会
- ・30日 日の出町農業委員会 等々



各種SNS情報

研修農場では、少しずつですが、最新の研修状況等をツイッターやフェイスブック、インスタグラムで発信しています。
ご活用SNSで、ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！



ぜひご覧ください

アカデミー専用HPはこちら